

令和5年度宮城県医師会事業計画

振り返れば世界の情勢が我が国、なかんずく我が宮城県の医療に対していかに大きな影響を及ぼすかを痛切に感じた一年であった。

新興感染症 COVID-19 は患者の受療行動の変化と、公衆衛生上の対応を担うところのウイルス抗原や PCR などの感染症検査及びワクチン接種が、これまでの通常診療の形態を大きく変容させた。またロシアによるウクライナ侵攻に端を発した世界的な燃料費の高騰による支出増について、これを公定価格である診療報酬に転嫁できないゆえの経営の圧迫が、差し迫った危機となっている。

さらにこの機に『改革』と称する我が医療界への変革が迫られている。一昨年6月に財務省における「春の建議」で公表された4つの点、すなわちかかりつけ医の法制化、給付費の伸びと経済成長率の「整合性」、医療法人の事業報告書の電子開示、そしてリフィル処方箋であり、統制と市場競争原理を目指したこれら全てが現実化に向けて確実に進行しており、医療界は外堀を埋められた状態にある。

以下に述べる業務を行う際にも、上に述べた諸情勢の変化をしっかりと把握した上で、我々は医師会として国民皆保険や国民の医療へのフリーアクセスを守るための活動を展開していく。

そして医療政策ひいては国際貢献に至るまでの活動が、真に効果を発揮するためにも、医師の加入率の向上による組織強化は基本的な課題と認識している。会員である、あるいは会員となることは自らを守るだけでなく、医師会を通じて社会医学的な貢献をなすことであるとの使命感に訴えかけ、以下に述べる活動に邁進していく。

令和5年度活動計画項目

1. 医療基本問題とその検討
 - 1) 医療倫理の高揚と実践
 - 2) 国民皆保険の維持と医療への市場原理主義導入の阻止
 - 3) 医師育成機構の活動および医師不足及び偏在・医療崩壊への対応
 - 4) 個人情報保護法及び医療情報の開示への対応
 - 5) 医療事故調査等支援団体としての制度への対応
 - 6) 医事紛争対策の充実
 - 7) 医療安全対策と医療の質改善運動の普及

2. 医師の労働環境の改善と経営基盤の安定
 - 1) 医師の働き方改革に向けた医療環境の改善
 - 2) 医療従事者の安全確保対策の推進
 - 3) 有床診療所、小規模病院の経営基盤の健全化
 - 4) 女性医師支援センターの充実
 - 5) 医療関係職種との連携

3. 医師生涯教育の充実
 - 1) 新専門医制度への対応と県協議会への参画
 - 2) 生涯教育事業の改善および専門医制度との連携
 - 3) 医師臨床研修制度への参画
 - 4) 医学研究の奨励・助成

4. 地域の保健、医療、福祉活動の一体化
 - 1) 新型コロナウイルス（COVID-19）等感染症への対応
 - 2) 地域医療構想の実現に向けた地域医療構想調整会議の活性化
 - 3) 地域包括ケアシステムの構築と多職種協働、在宅医療の推進
 - 4) 大規模災害対策及び JMAT 宮城の強化
 - 5) 救急医療の充実・強化
 - 6) がんゲノム医療への参画、がん治療の均てん化、緩和ケア医療の充実
 - 7) がん登録の推進とデータ活用への協力
 - 8) 糖尿病を含む生活習慣病への対応
 - 9) 母子保健・学校保健・産業保健・スポーツ医学等の充実

- 10) 労災・自賠責保険制度の運営協力
- 11) 少子・高齢社会への対応
- 12) 自死対策をはじめとするメンタルヘルスケアの充実
- 13) 医師無料職業紹介事業（ドクターバンク）の充実
- 14) 環境問題への取り組み
- 15) 医療のデジタルトランスフォーメーションへの対応
- 16) 宮城県地域医療学会の開催
- 17) 警察活動に協力する医師の組織化並びに死因究明向上への関与
- 18) 受動喫煙対策の推進

5. 医師会活動の基盤整備、組織強化

- 1) 医師会館・地域医療連携支援センターの運営
- 2) 公益社団法人としての各事業の効率化
- 3) 郡市医師会との連携
- 4) 宮城県医師会健康センター事業の充実と推進
- 5) 研修医、勤務医、新規開業医の医師会加入促進と勤務医委員会の充実
- 6) 医政、広報活動、特に対外広報の充実
- 7) 宮城県医師会協同組合事業の推進
- 8) 宮城県地域医療情報センター事業の推進
- 9) 日本医師会と東北ブロック医師会及び郡市医師会活動への連携と協力
- 10) 適切な保険診療の推進と個別指導、監査への関与